

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）										
	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○単位制総合学科の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントの推進に向けて学校全体で取り組む。 ○生徒の主体的な学びと確かな学力の定着に向けた、「系列」に応じた系統性のある学習の推進。	①新教育課程を実施するうえで生じる問題点を、継続的に把握し、適切に対処する。 ②新教育課程において、生徒が進路希望に応じて適切な科目選択をおこなうことで、主体的に学習に取り組むことを目指す。	①各年次、各教科との連携を密にし、問題点を早期に発見し適切に対処する。 ②履修ガイドブック、科目選択のガイダンス資料を適切に活用するとともに、キャリア支援グループと連携して、進路実現のための履修例や、3年間の科目選択、履修順序の例など更なる充実を目指す。	①各年次、各教科と連携を図り、問題点の発見、対処がおこなえたか。 ②履修ガイドブック、科目選択のガイダンス資料を適切に活用できたか。進路実現のための履修例や、3年間の科目選択、履修順序の例などを充実させたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	○部活動のより一層の活性化を図り、魅力特色ある学校づくりを推進する。 ○SC、SSW、教育相談コーディネーター、外部機関との密接な連携を図り、支援を必要とする生徒一人ひとりへの支援体制の充実と強化を図る。	①部活動加入率60%を目標にして部活の活性化を図る。特に文化部の加入率向上に努める。 ②月に1回、定期的にコーディネーター会議を開き、戦略会議やケース会議を通して多様化する生徒一人ひとりのニーズに応えられるような合理的配慮を目指した支援をおこなう。	①部活動の活動紹介や大会日程、試合結果などの情報をSNSで積極的に公開して、生徒の関心を促し、入部率の向上を図る。 ②各年次の教育相談担当者が支援の必要な生徒情報を共有し、早期発見・早期対応に努める。また、教育相談について研修する場を設け、職員のスキルアップを図る。	①部活動加入率が60%以上になったか、文化部の入部率が特に伸びたか。 ②定期的にコーディネーター会議を開き、戦略会議やケース会議を通して課題のある生徒に支援ができたか。また、教育相談について研修会を開くことができたか。					
3	進路指導・支援	○多様な進路希望の実現に向け、進路希望分野別で継続的な支援を計画的に実施する。 ○外部機関と連携を行い、進路希望分野別のガイダンスや希望分野別の講習会を企画し、全ての生徒にとって適切な情報提供を実現する。	①全年次の学習計画に沿って、1年次の「産業社会と人間」2・3年次の「総合的な探究の時間」を個々の生徒の進路規模実現に資するよう効果的に行う。 ②進路別ガイダンス、進路別学習会を効果的に実施し、家庭に向けた情報提供を含めて適切でタイムリーな支援を行う。	①1年次は、自己理解と職業理解を計画的に支援。2年次は、進学・就職に向けた準備計画の確定と社会を取り巻く事象に対する探究学習を支援。3年次は進路希望実現に向けた取り組みを個別に支援する。必要があれば年間計画を適宜見直すなど柔軟に対応する。 ②ガイダンスや学習会で、クロームブック等を活用し効果的な情報提供と情報発信に積極的に取り組む。	①各取り組みでの振り返りシートを工夫し、生徒の記述が充実した内容になっているか。実施後のアンケート結果において理解が深まったと回答しているか。 ②生徒一人ひとりの活動が年次職員で共有できる資料提供ができたか。生徒一人ひとりの取組状況を保護者へ適切に情報提供できたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	○「南が丘地区豊かな心を育む協議会」等との連携を通して幼稚園、小中学校・地域自治会等との相互交流をさらに充実する。 ○ボランティア活動のより一層の充実とボランティア精神の涵養を図る。	①地域の幼稚園・小・中学校や自治会と連携を深め、教育活動の充実を図る。 ②ボランティア活動、あいさつ運動を中心とした地域との連携を深め、生徒が積極的にボランティア活動に参加できるようにする。	①南が丘地区にある幼稚園・小・中学校との連携をさらに推進し、地域の自治会等の行事に積極的に参加するなど、教育活動の充実に向けた連携を深める ②積極的にボランティア活動について情報発信を行い、生徒のボランティア活動への参加を促す。	①幼稚園・小・中学校との連携や地域の行事などに参加することができたか。 ②ボランティア活動に参加した生徒が増加したか。					
5	学校管理 学校運営	○様々な教育環境の変化に柔軟に対応し、積極的に課題に取り組める持続可能な組織づくりを行う。 ○全職員が不祥事防止に対する意識を高く持ち行動する。	①地域の中学生・保護者に向けて、本校の魅力を十分に伝えるための発信を積極的に行う。 ②全生徒・職員が安心・安全に教育活動の課題に取り組める組織づくりを推進する。	①秦野総合高校の魅力を伝えるためHPの更新や秦野・伊勢原地区の中学校を中心に積極的に学校訪問等を行う。 ②生徒が安心して快適に過ごせる環境をつくとともに、有事の際に迅速な行動ができるように備える。 ③不祥事ゼロを目指し働きやすい職場環境をつくる。	①定期的に学校のHPを更新できたか。また、秦野・伊勢原地区の中学校に十分に学校案内をすることができたか。 ②防災計画を図り、実行ができたか。 ③オフィス改善に向けて計画を立てるとともに、定期的な不祥事防止研修会を実施することができたか。					